

若葉

2025年
7月号

発行… 宍粟市山崎町御名20番地2
山崎南小学校
学校ホームページQRコード



いつ起こるか分からない災害への備え

教頭 井平 公章

夏が近づくと、平成21年8月9日のことを思い出します。

私は、8月8日、親戚の結婚式で石川県に行き、9日まで石川県に滞在していました。その時、「突粟は大雨やし、これからも強くなるから早く帰ってきた方がええぞ。高速や国道が通行止めになるかも知れん。」

と、父親から連絡が入ったのですが、石川県はただの曇り空。まだ石川県で遊びたかった子どもたちをなだめ、帰路に就きました。すると、突粟市に近づくと、雨は強くなり、だんだんと暗くなってきました。私たちは、強い雨と闇で辺りの様子など全く見えない中、22時30分頃、家に着きました。子どもたちを、ベッドに寝かせてホッとしていると、23時頃。しーたん放送から、「土砂崩れ(波賀)により、国道が通行止め。」「水没(一宮・山崎)、国道の欠損(山崎)による通行止め。」と、次々に情報が入ってきました。消防団の招集がかかったので、出動しようとして玄関に行くと、靴やおもちやが、ぶかぶかと水に浮き、プールのような光景です。外に出ると、家が水に浸かり、家周辺を見て回ると、裏の田んぼや溝からあふれ出た水が、道路より低い我が家が集まっています。自宅周辺の家屋の被害対応や、自治会のいたる箇所での土の積みみの作業をして家に帰ったのは、朝の8時頃でした。

疲れ切った状態でしたが、冷静になって考えると「被害が起こりそうな突粟まで、無理して帰る必要はなかったかもしれない。」という考えが頭をよぎりました。

私が勤めていた学校の地域も大きな被害を受け、孤立や家屋の倒壊、ライフラインである電気・水道が使えない状況になっていました。隣接する佐用町

でも、大きな被害があり、避難の遅れなどから大切な命が失われる結果となりました。

この時から、「水害のとき、うちの家は、この部屋が安全かな。」「避難はここ。無理して来ないよう。」「地震のときは、こう行動しよう。」と話題をふり、日頃から家族で避難方法を考えています。どの行動が正解かは分かりません。しかし、意識して備えているだけで、行動には時間がかからず、冷静な判断につながると思っています。

令和3年に、「避難勧告」は廃止されました。「避難指示」になると、それはもう命の危機にある状況です。しかし、水害では、数メートル、数百メートル場所が違っただけで被害が大きく異なるために、避難を躊躇するというケースが生まれているのだと思います。「緊急安全確保」となると、その場で命を守る行動をとることが重要になります。

「避難指示」が出された時、みなさんなら、どう判断し行動しますか。市や県のハザードマップで、水害や土砂災害等の想定がされていますが、自宅近隣の被害想定を知っておられるでしょうか。ぜひ、一度、ホームページで確認して、被害状況を想定しておいてください。そして、それらのことを家族で話し合うだけでも、災害時の備えにつながると思います。

また、現在、トカラ列島で毎日のように地震が起こっています。トカラ列島の地震とは関係がないと言われていますが、南海トラフ地震の発生率は80%にはね上がっています(30年以内の発生率)。天気予報で「**傘80%**」と見たときは、ほとんどの人が傘を持って出かけますよね。1秒後、1分後、1時間後、1日後、1年後、10年後、30年後のどのタイミングで地震が起こるかは分かりません。いつ起こったとしても、自分たちの命を守るための知識、生きるための備えが必要だと思えます。

今夏、家族で様々な災害を想定し、家族の防災力を高めてください。

『見える力』と『見えない力』に着目して

生活指導推進部

いよいよ夏休みが近づいてきました。子どもたちは、1学期の学びや学校生活を振り返りながら、楽しみにしている夏休みに向けて胸をふくらませていることと思います。そんな中、1学期の最終日に、『学びと育ちの通信(通知表)』を子どもたちに手渡しします。ご家庭でも、『学びと育ちの通信』をもとに、お子さんの1学期のがんばりを振り返ったり、今後の課題について話し合ったりしていただければと思います。学期末は、子どもたちが自分の成長を見つめ直す良い機会であるとともに、私たち大人にとっても、子どもたちとの関わり方を改めて考えるよい節目ではないでしょうか。

小学校では、授業を通して一定の学力を身につけることが大切な目標の一つです。しかし、それだけではありません。友だちとの関わりや集団での活動を通して育まれる、協調性や粘り強さ、コミュニケーション力などの「目に見えない力」も、同じように大切にしていきたいと考えています。

この「目に見えない力」は、近年「非認知能力」と呼ばれ、注目されています。非認知能力とは、「自制心(がまんする力)」「やり抜く力」「社会性」「自己肯定感」など、テストの点数では測れない一連の能力を指します。さまざまな研究により、この非認知能力が、学力を向上させたり仕事等で成功したりする原動力となることがわかってきました。

「非認知能力」は、日々鍛えることができる能力だと言われています。こうした力は、授業や行事、異学年との交流など、学校での様々な体験の中で育まれます。最も身近な存在である家庭で育まれます。そうなんです。

山崎南小学校でも次のようなことを大切にしたいと考えています。たとえば、子どもたちが何かをやり遂げた際、結果だけに注目せず、「あきらめずに頑張ったね」などと、努力や過程に目を向けて声をかける

ことです。「努力すれば成長できる」という前向きな気持ちをもつとともに、「やり抜く力」を育むこともつながります。また、何か失敗したときには、すぐに責めるのではなく、「どうすればよかった?」「次はどうする?」と一緒に考えることで、失敗を生かして自分で改善しようとする力や、失敗を恐れずチャレンジしようとする意欲につながると考えています。こうした日常の関わりが、子どもたちの「非認知能力」を育て、学力や生きる力を支える大切な土台となっていくます。学校・家庭・地域が連携し、「見える力」にも目を向けながら、子どもたちに関わっていくればと思います。

行事予定

7月

16日(水) 自治会別児童会

18日(金) 1学期終業式

22日(火) 個別面談(24日)

8月

13日(水) 学校施設一時閉鎖(15日)

9月

1日(月) 2学期始業式

3日(水) 身体測定(低学年)・給食開始

4日(木) 身体測定(中学年)・PTA理事会

5日(金) 身体測定(高学年)

10日(水) クラブ

11日(木) 防災訓練

17日(水) 集金日・委員会

21日(日) 秋の交通安全週間(30日)

25日(木) 修学旅行

26日(金) 修学旅行